

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成22年9月16日 (2010.9.16)

【公開番号】特開2009-34799(P2009-34799A)

【公開日】平成21年2月19日 (2009.2.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-007

【出願番号】特願2007-203472(P2007-203472)

【国際特許分類】

B 2 4 B 9/14 (2006.01)

B 2 4 B 55/02 (2006.01)

B 2 4 B 55/03 (2006.01)

【F I】

B 2 4 B 9/14 A

B 2 4 B 55/02 A

B 2 4 B 55/03

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月30日 (2010.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

砥石により加工される眼鏡レンズの加工部分に研削水を供給する加工装置本体と、加工装置本体から排出された加工屑を含む排水が投入される脱水槽を持ち、脱水槽を回転することにより加工屑と研削水とを分離し、研削水を脱水槽の外へ排出する遠心分離機と、を備える眼鏡レンズ周縁加工装置において、

前記加工装置本体によってレンズが加工された時の所定の制御信号に基づいてレンズの加工枚数をカウントする計数手段と、該計数手段によりカウントされた加工枚数が予め設定された所定枚数に達した場合に前記遠心分離機の脱水槽に溜まった加工屑を取り出す必要がある旨を警告する警告手段と、脱水槽から加工屑が取り出された後に前記計数手段によりカウントされた加工枚数をリセットする信号を入力するリセット信号入力手段と、を備えることを特徴とする眼鏡レンズ周縁加工装置。

【請求項 2】

請求項 1 の眼鏡レンズ周縁加工装置において、前記脱水槽の上部に設けられた開閉可能なカバーと、該カバーの開閉を検知する開閉検知手段と、前記開閉検知手段により前記カバーが開けられた検知信号が入力された後に前記リセット信号入力手段からのリセット信号の入力を可能にするリセット信号入力制御手段と、を備えることを特徴とする眼鏡レンズ周縁加工装置。

【請求項 3】

請求項 1 の眼鏡レンズ周縁加工装置において、前記砥石によるレンズの加工開始以前に前記加工装置本体に入力される所定の信号に基づいて前記遠心分離機の脱水槽を回転させ、前記砥石によるレンズの加工終了後に研削水の供給が停止した後も一定時間余分に脱水槽を回転させる制御手段を備えることを特徴とする眼鏡レンズ周縁加工装置。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 の何れかの眼鏡レンズ周縁加工装置において、前記遠心分離機の電源ラインを接続するために前記加工装置本体に設けられた電源アウトレットを備え、前記加工装置

本体の電源スイッチのＯＮ／ＯＦＦに連動して前記電源アウトレットを介して前記遠心分離機への電力供給がＯＮ／ＯＦＦされることを特徴とする眼鏡レンズ周縁加工装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本発明は上記課題を解決するために次のような構成を備えることを特徴とする。

(１) 砥石により加工される眼鏡レンズの加工部分に研削水を供給する加工装置本体と、加工装置本体から排出された加工屑を含む排水が投入される脱水槽を持ち、脱水槽を回転することにより加工屑と研削水とを分離し、研削水を脱水槽の外へ排出する遠心分離機と、を備える眼鏡レンズ周縁加工装置において、

前記加工装置本体によってレンズが加工された時の所定の制御信号に基づいてレンズの加工枚数をカウントする計数手段と、該計数手段によりカウントされた加工枚数が予め設定された所定枚数に達した場合に前記遠心分離機の脱水槽に溜まった加工屑を取り出す必要がある旨を警告する警告手段と、脱水槽から加工屑が取り出された後に前記計数手段によりカウントされた加工枚数をリセットする信号を入力するリセット信号入力手段と、を備えることを特徴とする。

(２) (１)の眼鏡レンズ周縁加工装置において、前記脱水槽の上部に設けられた開閉可能なカバーと、該カバーの開閉を検知する開閉検知手段と、前記開閉検知手段により前記カバーが開けられた検知信号が入力された後に前記リセット信号入力手段からのリセット信号の入力を可能にするリセット信号入力制御手段と、を備えることを特徴とする。

(３) (１)の眼鏡レンズ周縁加工装置において、前記砥石によるレンズの加工開始以前に前記加工装置本体に入力される所定の信号に基づいて前記遠心分離機の脱水槽を回転させ、前記砥石によるレンズの加工終了後に研削水の供給が停止した後も一定時間余分に脱水槽を回転させる制御手段を備えることを特徴とする。

(４) (１)～(３)の何れかの眼鏡レンズ周縁加工装置において、前記遠心分離機の電源ラインを接続するために前記加工装置本体に設けられた電源アウトレットを備え、前記加工装置本体の電源スイッチのＯＮ／ＯＦＦに連動して前記電源アウトレットを介して前記遠心分離機への電力供給がＯＮ／ＯＦＦされることを特徴とする。